

令和3年度高松商工会議所経営発達支援計画

実施結果

令和4年8月

1. 経営発達支援事業の内容

高松商工会議所は、高松市と共同で認定を受けた経営発達支援計画において、関連団体と緊密な連携のもと、個別企業の実態把握と経営状況の分析、新たな需要の開拓に資する経営計画の策定支援を行った。特に当地域においては、商業・サービス業が大きなウエイトを占めているため、この業種を中心とした小規模企業の経営基盤の改善と強化を図るため伴走型の総合的支援を実施し、活力ある地域づくりに努めた。

実施期間:令和3年4月1日～令和4年3月 31 日

2. 地域の経済動向調査

【実施した事業内容】

(1) 国が提供するビッグデータの活用

RESASを活用し、地域の経済動向分析を行い当所HPに分析結果を公表した。

(2) 業種別景気動向調査等

「中小企業景況調査」、「業種別景気動向調査」、「LOBO調査(日本商工会議所早期景気観測システムに提供する資料調査)」を行い、当所会報やHPに調査結果を掲載し周知した。

【実績】

日本商工会議所からの依頼による様式に加え、高松商工会議所が実施する調査により、多角的な視点から、現状分析を実施し公表した。

(単位:回)

調査内容	令和3年度 (目標)	令和3年度 (結果)
地域の経済動向分析公表回数	1	1
景気動向公表回数	4	4

3. 経営状況の分析に関するこ

【実施した事業内容】

(1) 小規模事業者の経営分析

マル経融資や小規模事業者持続化補助金など、相談業務により分析の対象となる小規模事業者の経営状況等を把握するため、経営支援機関システムBIZミルを活用して簡易分析を行い、その中から専門知識を有する中小企業診断士、税理士等と連携することで、事業計画策定を行った。

(2) 経営分析セミナーの開催、巡回・窓口相談を介した掘り起こし

経営分析セミナーを開催し、自社の経営状況を把握するための財務諸表の見方、リスクを読み解くノウハウといった情報の提供を行った。また、窓口及び巡回で相談があつた事業者に対し、補助金申請や融資希望者の現状分析を行つた。

【実績】

相談企業の経営状況を分析し、より適切且つ効果的な経営支援を実施するため、下記により、個別企業の経営実態把握の機会創出に努めた。

支援内容	令和3年度 (目標)	令和3年度 (結果)
①開催件数	1回	1回
②分析件数	160 件	186 件

4. 事業計画策定支援に関するこ

【実施した事業内容】

(1) 事業計画策定セミナーの開催

当所窓口及び巡回指導を行つた事業者を対象とした、経営革新塾を開催し、事業計画策定の意義や重要性について理解を深めていただく支援を行つた。

(2) 事業計画策定支援

小規模事業者経営改善資金や創業融資、小規模事業者持続化補助金・事業再構築補助金・県の創業補助金等各種補助金申請にあたり、事業計画策定支援を行つた。

【実績】

補助金や効果的な施策等、小規模事業者の支援制度を広く周知し、事業の円滑な実施に向けた有効活用について検討を行うとともに、事業計画策定支援を行つた。

支援内容	令和3年度 (目標)	令和3年度 (結果)
事業計画策定事業所数	60	65

5. 事業計画策定後の実施支援に関するこ

【実施した事業内容】

(1) 各種補助金採択後や事業計画策定後に定期的なフォローアップを実施

令和3年度は一般型とコロナ特別対応型の2種延べ9回公募のあつた小規模事業者持続化補助金をはじめ、事業再構築補助金、香川県頑張る事業者の応援補助金、特例承継計画の他、事業計画策定支援のフォローアップを行つた。定期的なフォローアップについては新型コロナウイルスの影響から、巡回窓口対応以外に電話やメールでのフォローアップを実施した。

【実績】

事業計画策定支援後のフォローアップにより具体的かつ効果的な個別支援を実施した。

支援内容	令和3年度 (目標)	令和3年度 (結果)
フォローアップ対象事業者数	60	137
頻度(延回数)	330	358
売上増加事業者	20	7
利益率5%以上増加の事業者数	20	9

6. 需要動向に関すること

【実施した事業内容】

(1) 県外中心のバイヤーに対し需要動向調査を実施

GROW UPプログラムにおける商品開発プログラム及び商談会に参加いただいた県外中心のバイヤーに対し、商談のみならず、セラーである事業者の提案する商品のデザイン、価格設定、味や品質、市場トレンドとの整合性、消費者への売りやすさ、バイヤーとしての仕入れやすさ等、直接セラーに対してのアドバイス及びアンケートを実施し、フィードバックを行った。

(2) 各事業者の顧客・消費者に対し需要動向調査を実施

各事業所において来訪した顧客、消費者に対し、主力商品に対する評価について事業者にヒアリングをしていただき、需要動向について情報共有を行い、今後の商品開発や事業計画に還元した。

【実績】

支援内容	令和3年度 (目標)	令和3年度 (結果)
(1) 対象事業者数	15	16
(2) 対象事業者数	5	8

7. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関するこ

【実施した事業内容】

(1) マッチングフェア(商談会)の実施

商談会を開催するだけでなく、その前後の個別相談等のフォローを行い、商談スキル向上支援プログラムを実施し、個々の事業者の実践的な販路拡大、販売促進の支援に努めた。また、対面だけではなく、コロナ禍で来県が難しい県外のバイヤーについてはオンラインでの商談会を実施した。

【実績】

GROW UPプログラムとして小規模事業者の商談スキルの向上を目的としたマッチングフェアの開催及び出展に際しての広報・PR等情報発信力の向上を支援し、販路拡大の促進に努めた。

支援内容	令和3年度 (目標)	令和3年度 (結果)
他団体主催展示会出展企業数	15	0
成約件数/社	10	0
当所主催展示会出展企業数	15	16
成約件数/社	10	16

※他団体主催展示会出展については予定していた展示会が中止となった為

8. 地域経済の活性化に資する取組に関すること

【実施した事業内容】

高松中央商店街を形成する8商店街内で「高松中央商店街店舗立地動向調査(空き店舗調査)」を年2回実施し、高松中央商店街の現状を調査した。

また、商店街の賑わいを取り戻すために、商店街と地域住民の繋がりを深め、次の時代に繋がる商店街づくりに必要なこと及び新型コロナウイルス感染症が、商店街の景況感や消費者ニーズに与える影響を把握するため、商店街来街者に対し、「商店街の活性化に係るアンケート調査」を実施した。

【実績】

関連機関との連携のもと、魅力ある街づくりと地域経済活性化に努めた。

支援内容	令和3年度 (結果)
高松市中心市街地活性化協議会開催回数	2
各種調査事業の実施	2

9. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウの情報交換に関すること

【実施した事業内容】

香川県産業・企業動向関連情報連絡会議、よろず支援ネットワーク連絡会、香川県事業承継ネットワーク連絡会等に参加し、各連携機関との情報交換を行った。

香川県下中小企業相談所長会議を1回開催し、香川県内の商工会議所が実施している事業内容や支援状況、小規模事業者の景気動向等について情報交換し、効果的経営支援法等について検討を行った。

また、かがわ産業支援財団や香川県商工会連合会、日本政策金融公庫等、地元の主要な機関と相談企業の経営課題解決のため連携を図った。

10. 経営指導員等の資質向上に関するこ

中小企業大学校や日本商工会議所が主催する各種研修会に 10 回、香川県下商工会議所 経営支援担当職員研修に2回参加し、支援能力の向上と効果的経営手法の習得等に努め総合的な支援能力の向上を図った。併せて小規模事業者の個別相談において、若手経営指導員が行う相談対応にベテラン経営指導員や専門家が同席し、若手経営指導員に対し、OJTによる効果的かつ実践的な伴走型支援能力の向上を図った。

11. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関するこ

実施した経営発達支援事業について、事業の実施状況、成果の評価、効果的支援のための改善策の提示を行い、効果的なPDCAサイクルの構築を図るよう、評価委員会を開催した。

【令和4年度からの取組み】

小規模事業者持続化補助金や事業再構築補助金の申請など、より専門的な知識の向上が必要とされてきている。各種研修・勉強会を実施するとともに、ベテラン経営指導員の支援ノウハウを円滑に若手経営指導員に継承できるよう、OJTを行う。

若手経営指導員を中心に中小企業大学校や日本商工会議所が主催する各種研修会への積極的な参加や、専門家の活用によるOFFJTでの教育を行う。

また、経営指導を行う上で、事業者の経営状況の分析は重要な指標であり、その分析を迅速に行うための経営支援ツール BIZ ミルを今年度も活用する。BIZ ミルを活用することで、若手経営指導員でも経営分析から事業計画策定が可能となり、一人でも多くの事業者を支援できるよう、体制を整える。

今後の経営発達支援計画についても年1回、実施状況、成果の評価、効果的支援の改善策の提示を評価委員会にてより良い支援を行っていけるよう評価を行う。

経営発達支援計画運営・評価委員会開催結果について

◇日 時 令和4年8月22日（月）14：00～15：00

◇場 所 高松商工会議所会館 4階 402会議室

◇出席者 5人

◇審議事項 令和3年度実施事業の評価・見直しについて

結 果

当所経営支援課長による開会挨拶の後、運営・評価委員会規程第3条第3項により、岩村委員長が議長となり議案審議を行い、審議事項（1）について、各委員から以下のとおり意見・評価があり今後の取組みに反映することとした。

○補助金等を活用する際に事業者がどのようなことで困っているか、どんな悩みがあるかを各支援機関が共有しながら支援を続けていただきたい。また、商業・サービス業以外の業種についても積極的な支援を続けていただきたい。

○結果よりも、今後どうしていくかが重要だと考えている。特に、国のコロナ関連施策が終了した際にどのように事業者支援をしていくかが支援機関に求められていることであり、継続した支援をしていただきたい。

○補助金申請支援については、計画の段階で申請事業者に合った計画になるような支援が必要と考えている。補助金が交付された後の支援も重要と考えておりフォローアップを続けていただきたい。

○徐々にではあるが行動制限もなくなり、新型コロナウイルスの影響も新しいフェーズに移りつつある。コロナ前と現時点を比較した場合に消費者の好みや考え方も変化している。そのような状況も踏まえ各支援機関と連携して支援を継続していただきたい。

○小規模事業者の意見も反映させた支援策を検討し、引き続き支援に取り組んでいただきたい。

以上